



**TOKYO**

履修の仕組み(文科三類編)

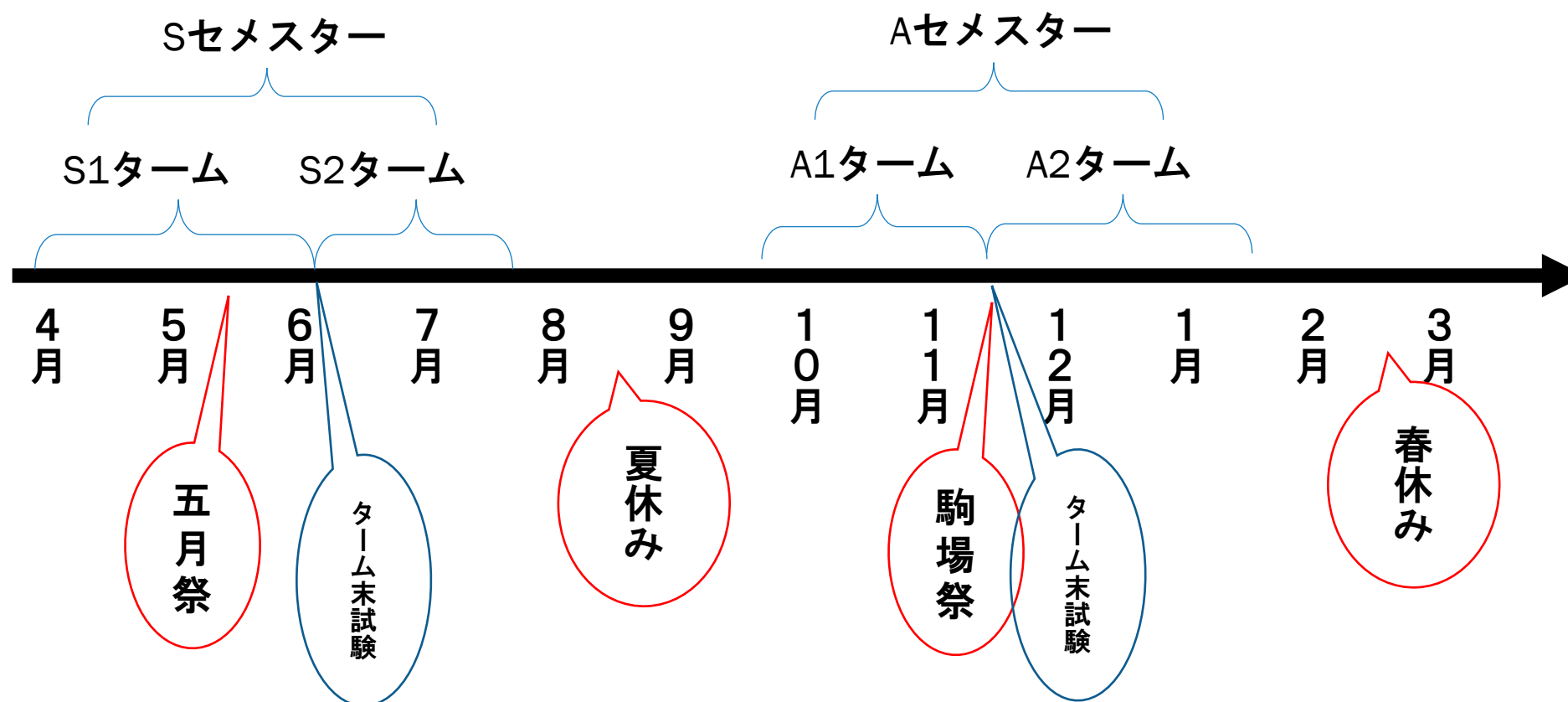


# 授業について



# 授業スケジュールについて

東大ではセメスター制とターム制を併用しています。





# 授業時間について

東大の授業は原則として1コマ105分で行われています。

時限	授業時間
1時限	8:30-10:15
2時限	10:25-12:10
3時限	13:00-14:45
4時限	14:55-16:40
5時限	16:50-18:35
6時限	18:45-20:30



# 授業の区分について

前期教養課程の科目は**基礎科目**、**展開科目**、**総合科目**、**主題科目**の4つの科目区分に分類されます。

- ・ **基礎科目**：主に必修や準必修と呼ばれるもので以下の区分に分かれています。  
文科生：外国語、情報、身体運動・健康科学実習、初年時ゼミナール文科、社会科学、人文科学
- ・ **展開科目**：基礎科目などの内容を発展させた専門的な授業・ゼミナール。
- ・ **総合科目**：L系列・A～F系列に分かれていて、社会・人文・自然など多種多様な授業があります。
- ・ **主題科目**：専門分野の教員を通して学問に接したり、海外研修などの国際交流を行ったりします。



# 単位について

文科三類では前期教養課程の2年間で56単位を取得する必要があります。

各授業の単位数は以下のとおりとなっています。

ターム制で週1コマ(計7コマ)の講義/演習 → 1単位

ターム制で週2コマ(計14コマ)の講義/演習 → 2単位

セメスター制で週1コマ(計14コマ)の講義/演習 → 2単位

セメスター制で週2コマ(計28コマ)の講義/演習 → 4単位

\* 「身体運動・健康科学実習」や総合科目の一部の授業などは**実験/実習**に分類され、上記の単位数の半分になります。(例：ターム制で週1コマ(計7コマ)の実験/実習 → 0.5単位)



# 基礎科目について

(主に1Sの授業)



# 基礎科目（既修外国語/英語の場合）

英語の必修授業は英語一列①、英語一列②、英語二列S、英語二列Wの4つに分かれています。クラスによってどの授業をどのタームやセメスターでやるのかは違います。

・ **英語一列（ターム制・週1コマ）（成績：全科類共通のテスト 70%/出席・授業態度 30%）**  
指定教科書の英文を読解する受験英語に似た授業です。英語一列①では入試の英語の成績、英語一列②では英語一列①の試験結果を基準にG1,G2,G3とクラス分けがあります。G1は主に外国人教師が担当し、ほぼ英語で授業が行われますが、G2,G3は日本語がメインで行われます。

・ **英語二列S（ターム制・週1コマ）（成績：テストなし/出席・授業態度 100%）**  
Speakingの授業であり、FLOWと呼ばれる英会話の授業です。レベル1~6の習熟度を自分で選ぶことができます。教員によって、授業形態が大きく異なりますが、課題として英語で自撮り動画を提出することが話題になります。

・ **英語二列W（セメスター制・週1コマ）（成績：テストなし/出席・授業態度 100%）**  
Writingの授業であり、ALESAsと呼ばれる英語論文を書く授業です。研究の設計から実施、考察までを全て英語で行い、最後に学術論文を書き上げます。1年生では1番大変な授業と言われ、学術論文を書く難しさに加え、授業・論文が全て英語という点で負担が大きいです。





# 基礎科目（初修外国語）

初修外国語の授業は入学時に選択した外国語をもとに行われます。

- ○○語一列①（セメスター制・週1コマ）（成績：出席・授業態度、テスト）
- ○○語一列②（セメスター制・週1コマ）（成績：出席・授業態度、テスト）
- ○○語二列（セメスター制・週1コマ）（成績：出席・授業態度、テスト）

○○語一列①と○○語二列が1Sで、○○語一列②が1Aで開講され、いずれもクラス指定です。一列と二列の差は特に明確に区切られているわけではないですが、一方で文法、もう一方で講読を扱っている場合が多いです。



## 基礎科目（情報）

- ・ **情報（ Semester制・週1コマ）**（成績：全科類共通のテスト 50%／出席・授業態度 50%）

1Sに開講されていて、情報教育棟（JK棟）にてパソコンの授業を行います。教員によっては毎週課題が出ることもあります。また、全科類共通のテストに加えて独自の問題も出す教員もいます。情報に強い友達がいると頼りになるため、パソコン強者に群がる姿が散見されます。

## 基礎科目（身体運動・健康科学実習）

- ・ **身体運動・健康科学実習（ Semester制・週1コマ）**（成績：テストなし／出席・授業態度 100%）

通称スポ身。1Sに1コマ、1Aあるいは2Sで1コマの計2コマ(実習のため、計2単位)を取得します。種目はコマによって異なり、バスケ、卓球、ソフトボール、バレーボール、バドミントン、テニス、サイエンスなどの種目から選ぶこととなります。

初めの複数回の授業でガイダンス、身体測定(垂直跳び、腕立て伏せ、反復横跳び、踏み台昇降)を行い、抽選での種目分けも行います。身体測定の数値が低い人は優先的にサイエンス(筋トレやランニング)の選択権が与えられています。また、 Semester中に2回共通基礎実習が行われます。

\* 疾病等により運動が制限されている人を対象に「メディカルケアコース」も開講されています。



# 基礎科目（初年次ゼミナール文科）

- ・初年次ゼミナール文科（ Semester制・週1コマ）（成績：出席・授業態度・小論文）

通称初ゼミと呼ばれ、1Sに開講されています。少人数でアカデミックな体験を通して学習する授業です。

各クラス2つのコマが指定されていて、初めの複数回の授業で各コマに開講されている授業のガイダンスが行われ、抽選を通して1つのコマの1つの授業が決定します。

文献講読やフィールドワークなど幅広い授業形態から選ぶことができますが、人気の授業などもあり、抽選に落ちてしまい、興味のない授業になってしまうことも多々あります。また、各授業で小論文が課されるため、ALES Aと被ってしまうと忙しいです。



# 基礎科目（社会科学）

社会科学（社会学）は文科生の選択必修、いわゆる準必修と呼ばれるもので、「法」「政治」「経済」「社会」「数学」の5分野の科目があります。

文科三類の場合

2分野以上にわたって、4単位以上が必要です。

\*同じ分野のⅠとⅡを履修することは可能ですが、同じセメスターに同じ分野のⅠとⅡを同時に履修することはできません。



# 基礎科目（社会科学）

- ・ **法 I ・ II（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）**

Sセメでは法 I が文三生向けに水1に開講されています。法学における基礎を学ぶ、いわば法学の入門的な授業です。

- ・ **政治 I ・ II（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）**

Sセメでは政治 I が文三生向けに月3に開講されています。政治学の基礎的な概念を学び、政治現象を理解するための授業です。

- ・ **経済 I ・ II（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）**

Sセメでは経済 I が文科生向けに月3と火5に開講されています。現代の経済の仕組みを学び、様々な経済的な基本問題を考察する授業です。



# 基礎科目（社会科学）

- ・ **社会 I ・ II**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは社会 I が文科生向けに月3と火5に開講されています。社会学の基礎理論や概念を通して、現代社会について考察する授業です。

- ・ **数学 I ・ II**（セメスター制・週1コマ）（成績：レポートやテスト）

Sセメでは数学 I が文科生向けに火5、水1、数学 II が火5、水1に開講されています。受験数学でいう数3を扱い、数学 I では1変数関数の微分法や積分法など、数学 II ではベクトルと行列に関する基礎的な内容を扱う授業です。



# 基礎科目（人文科学）

人文科学も社会学同様に文科生の選択必修、いわゆる準必修と呼ばれるもので、「哲学」「倫理」「歴史」「ことばと文学」「心理」の5分野の科目があります。

文科三類の場合

2分野以上にわたり4単位以上が必要です。

\*同じ分野のⅠとⅡを履修することは可能ですが、同じセメスターに同じ分野のⅠとⅡを同時に履修することはできません。「ことばと文学」のみⅠ～Ⅳのうち、いずれを同時に履修しても問題はありません。



# 基礎科目（人文科学）

- ・ 哲学Ⅰ・Ⅱ（ Semester制・週1コマ）（成績：レポートやテスト）

Sセメでは哲学Ⅰが文科生向けに月3、水1に開講されています。哲学の根本的な問題を通して、哲学について学ぶ授業です。

- ・ 倫理Ⅰ・Ⅱ（ Semester制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは倫理Ⅰが文科生向けに火5に開講されています。基本的な倫理学説を概観することを通して、人間が生きるための根本問題を探求する授業です。

- ・ 歴史Ⅰ・Ⅱ（ Semester制・週1コマ）（成績：課題やテスト）

Sセメでは歴史Ⅰが文科生向けに月3と火5、歴史Ⅱが文科生向けに水1に開講されています。歴史Ⅰでは主に世界の歴史を概説し、歴史Ⅱでは日本列島やその周辺の歴史を概説する授業です。





# 基礎科目（人文科学）

- ・ **ことばと文学 I・II・III・IV**（セメスター制・週1コマ）（成績：レポートやテスト）

通称「ことぶん」。Sセメではことばと文学 I が文科生向けに水1、ことばと文学 II が文科生向けに火5、ことばと文学 III が文科生向けに月3に開講されています。I では人間言語の特徴を概説し、II では日本語や日本文学について、近世以前の古典を中心に概説し、III では日本語や日本文学について、近代を中心に概説します。

- ・ **心理 I・II**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは心理 I が文科生向けに月3、火5に開講されています。心の仕組みや働きについて心理学をもとに現象や理論を概説する授業です。



# 展開科目について

展開科目は取得すべき最低単位が定められていないため、完全に任意で履修可能な授業です。社会科学ゼミナール、人文科学ゼミナール、自然科学ゼミナールに分かれており、興味のある授業があれば履修するといいますが、抽選のため、履修できない場合もあります。



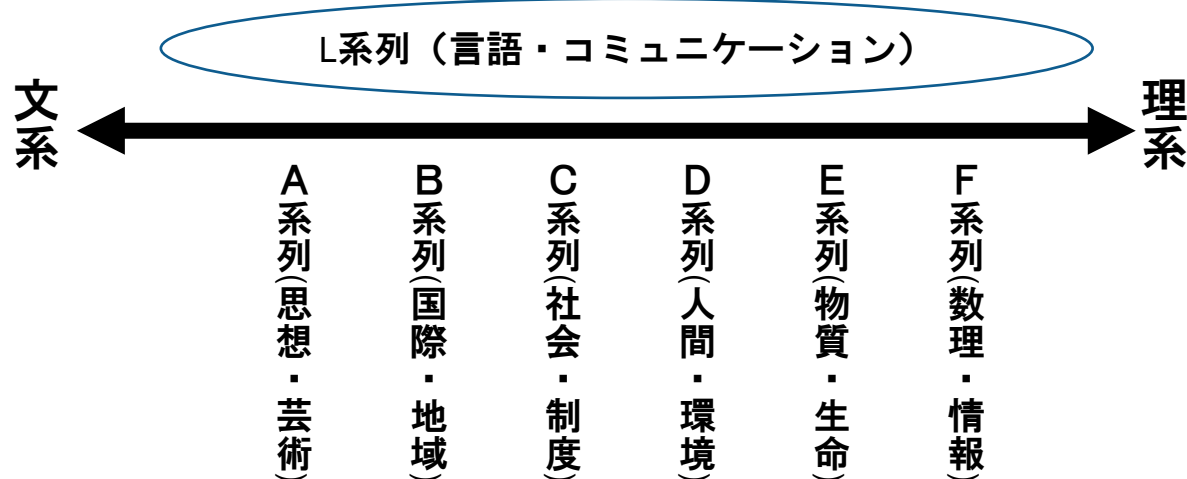
# 総合科目について

取り上げる授業の他にも興味深い授業や楽な授業はたくさんあります。  
また同じ授業でも教員によって内容が全く違うこともあります。  
取りたい授業をとってみましょう



# 総合科目について

総合科目は以下の7系列に分かれています。



文科三類では

- ・ **LABC系列から3系列以上にわたって17単位**  
→ L系列から9単位(既修外国語3単位、初修外国語4単位、その他2単位)を含める
- ・ **DEF系列から2系列以上にわたって8単位**  
が取得すべき最低単位数として定められています。



# 総合科目（L系列/既修外国語が英語の場合）

文科三類の場合、既修外国語と同一言語の科目の必要最低単位数として、「英語中級」もしくは「英語上級」から計3単位を取得しなければならず、ほぼ必修のように扱われます。

英語中級はクラス指定型と全クラス型、英語上級は全クラス型のみが開講されており、セメスターとターム制のものがあります。Sセメスター開始時にS2タームの授業も含めて、いずれの授業も履修希望の登録を行い、抽選が行われます。

英語中級は先生によって、本を読んだり、プレゼンしたりと多岐にわたった授業内容となっています。そのため、先生によって楽しさがかなり違い、楽な授業に第1希望が集中することが多く、抽選落ちしてしまう人も少なくありません。また、希望登録をし忘れて忙しい授業を履修せざるを得なくなってしまう人も一定数いるため、気をつけましょう。



# 総合科目（L系列/初修外国語）

文科三類の場合、英語中級・上級と同様に初修外国語を同一言語の「○語初級（演習）①」と「○語初級（演習）②」の計4単位を取得しなければなりません。

○○語一列・二列で学んだ基礎をもとに、演習では作文や発音などを学ぶため、比較的難しいことが多く苦勞する人が絶えないです。



# 総合科目（L系列/その他2単位）

- 文科三類の場合、L系列を9単位取得しなければなりません。前述の既習外国語と初修外国語で7単位は埋まります。  
→その他2単位を他のL系列の授業で取得すればよいことになります。

## その他のL系列の授業

- ①〇〇語インテンシヴ...初修外国語について、会話やリスニングのより実践的な演習が行われます。 Semester制で週2コマ開講されるので、1Sで4単位を取得することができます。受講人数に制限があり、抽選が行われることもしばしばあります。
- ②第3外国語...必修の初修外国語に加えて、第3外国語としてさまざまな言語の授業が開講されます。必修の初修外国語に比べて簡単であることが多いです。

ヘブライ語とか楽単?????



# 総合科目（A系列）

- ・ **記号論理学 I（文科生）**（ Semester制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは金2に開講されており、キゴロンと呼ばれている。

人気のため、理科生と文科生で分かれています。命題論理学や述語論理学自体の内容は普通に難しいです。

- ・ **美術論**（ Semester制・週1コマ）（成績：課題やレポート）

Sセメでは月5、水5に開講されており、美術史や理論をもとに、美術作品の理解を深める授業です。美術という分野のため、人気が高いです。また、テストはなく、美術館に行ってレポートを書くなど内容も比較的難しくはない場合が多いです。





# 総合科目（B系列）

- ・ **国際関係論**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは火2、金2に開講されており、コッカンロンと呼ばれる。

主に戦争や平和など国際政治についての入門的な講義であり、様々な国際関係について幅広く取り上げています。

- ・ **現代国際社会論**（セメスター制・週1コマ）（成績：出席やレポート、テスト）

Sセメでは火2、水5に開講されており、現代国際社会について、国家だけでなく、国家以外の諸主体の活動を学ぶ授業です。

国際関係論と似ているため、初回授業やガイダンスを経て、判断するといいです。



# 総合科目（C系列）

- ・ **ジェンダー論**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは水5に開講されており、現代社会におけるジェンダーやセクシュアリティについて学ぶ授業です。女性の履修者も多く、大学生として最低限の常識を身につけることができます。

- ・ **教育臨床心理学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは月2、火2、金5に開講されており、キョウリンシンと呼ばれる人気の授業です。現代の教育場面で起こる諸問題について取り組み、臨床心理学を学ぶ授業です。



# 総合科目（D系列）

- ・ **情報認知科学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）

Sセメでは金5に開講されており、認知機構を一つの情報処理システムと捉え、人間の知性について学ぶ授業です。

人間行動基礎論と同じく認知行動科学を扱う授業のため、似た内容が多いです。

- ・ **身体運動科学**（セメスター制・週1コマ）（成績：主にレポート）

Sセメでは火2、木1に開講されており、人の身体機能や運動に対する適応について幅広い分野にわたって学習する授業です。内容が難しいわけでもなく、レポート提出のため、人気があります。

- ・ **スポーツ・身体運動実習**（セメスター制・週1コマ）（成績：出席や授業態度）

二年生向けにしか開講されておきませんが、一年生の必修の身体運動・健康科学実習と同じ内容を総合科目として履修することができます（必修がスポ身と呼ばれるようになった所以です）。運動するだけで単位が来るため、人によってはかなり楽に感じます。



# 総合科目（E系列）

- ・宇宙化学 I (文科生) (セメスター制・週1コマ) (成績：レポート、テスト)

Sセメでは金2に開講されており、宇宙論や銀河や恒星の構造と進化を学ぶ授業です。文科生向けに難しい数学を極力使わないため、比較的ハードルは低めです。



# 総合科目（F系列）

- ・ **基礎統計（セメスター制・週1コマ）（成績：主にテスト）**

数理・情報を扱うF系列は理系でも重い授業が多いですが、統計学の基礎について学ぶ基礎統計はF系列と行ったら基礎統計と言えるくらいとても人気です。授業前半ではデータの分析を応用した内容を扱い、後半では推定や仮説検定とやや難しくなっていきます。

正直Sセメで履修するような  
F系列は他にないです、、、



# 主題科目について

文科三類では取得すべき最低単位数として2単位が定められています。  
興味深い授業や楽な授業はたくさんあります。  
取りたい授業をとってみましょう。

## じっくり数学がおすすめです



# 知っておくとお得

## ・ 逆評定

東大キャンパスマガジン「恒河沙」の発行主である時代錯誤者という団体がセメスターの初めに300円で売り出している冊子。各授業の各教員の評価が書かれているため、シラバスと併用してそれを基準に履修を決める人が多いです。

## ・ キャップ制

各セメスターにつき最大でも30単位しか履修することができません。しかし、主題科目の曜限欄に「集中講義」と記載されている科目や「国際研修」などに関してはキャップ制に含むことなく履修することができます。また、Sセメにおいて25単位以上を取得し、その9割以上が「優」か「優上」だった場合、Aセメではキャップ制を解放して、30単位以上に履修が認められます。

## ・ 平均合格

対象科目の全単位の成績が以下の条件を全て満たせば合格となり、単位の取得が認められます。

既修外国語(5単位)：①1S,1Aの成績の平均が50点以上 ②1Aの成績の平均が50点以上

初修外国語(6単位)：①1Sの成績の平均が40点以上 ②1Aの成績の平均が40点以上 ③1S,1Aの成績の平均が50点以上

身体運動・健康科学実習(2単位)：2つの実習の成績の平均が50点以上



# WARRIORSについて

- 公式HP :[www.tokyowarriors.com](http://www.tokyowarriors.com)
- LINE QR



- twitter : @tokyo\_warriors
- Instagram : @tokyo\_warriors
- 履修相談や質問は現役部員がいつでも受け付けます!
- お気軽にご相談ください☆